大災害に備え、救急訓練

9月9日　集団トリアージ・医療搬送訓練を実施

田方消防本部による県東部地域震源の地震発生を想定した救急訓練が、中島運動公園で行われました。

多数の負傷者を重症度と緊急性に応じて治療の優先度を決めるトリアージの訓練や、県防災航空隊とドクターヘリによる広域搬送訓練を行いました。

当日は田方医師会の医師や伊豆の国市、伊豆市、函南町の消防団など約120人が参加し、災害時における連携や対応などを確認しました。

人生に100年の歴史あり

9月13日　100歳長寿者を市長がお祝い訪問

今年度、満100歳を迎える市内長寿者は１４人です。『敬老の日』を前に、望月市長が長寿者たちの自宅を訪れ、皆さんに寿詞（じゅし）とお祝いの記念品、花束を贈呈しました。

菅沼りきさん宅（左写真）には、家族、友人らが集まり長寿を祝福。普段より緊張した様子の菅沼さんでしたが、市長からお祝いの言葉をかけられ、家族と一緒に笑顔を見せる場面も見られました。

10月1日

障害者虐待防止法が施行

障害者虐待防止法（障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律）は、虐待によって障がい者の権利や尊厳がおびやかされることを防ぐ法律です。

対象となる障がい者

障害者虐待防止法では、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）のある人や、そのほかに心身の障がいや社会的な障壁によって、日常生活や社会生活が困難で援助が必要な人が対象となります。（18歳未満の人も対象）

※障害者手帳を取得していない場合も含まれます。

障がい者虐待の種類

障害者虐待防止法では、虐待を3種類に分けています。

○養護者（家族や親族、同居する人）による障がい者虐待

○障がい福祉施設従事者等による障がい者虐待

○事業主（使用者）による障がい者虐待

虐待の通報・届け出

虐待を発見した人からの通報や、虐待を受けた障がい者本人からの届け出には、市が中心となって対応します。命にかかわる緊急事態もあるので、まずは障がい者の安全を最優先に考えます。そして障がい者の支援をしながら、家族など虐待する側の支援体制も整えていきます。

虐待を発見した人、または虐待を受けた人（障がい者本人）は、左記のセンターへご連絡ください。

伊豆の国市障がい者虐待防止センター

平日・昼間
障がい福祉課
☎0558(76)8007

夜間・休日
日直
☎0558(76)2222

時代劇場に太鼓の音が響く

8月25日　伝統芸能フェスティバル2012開催

各地域で継承されている伝統芸能のすばらしさを伝え、市民の文化交流と振興を目的に行われる『伝統芸能フェスティバル』が、今年も開催されました。

子どもたちは日頃の練習の成果を存分に発揮し、『しゃぎり』などをいきいきと演奏していました。

また、国際文化交流をテーマに掲げた今年は世界の伝統芸能の数々も披露され、観客を大いに楽しませていました。

多彩な狂言、観客を魅了

8月26日　狩野川能開催

今年で13回目となる『狩野川能』が、長岡総合会館アクシスかつらぎで行われました。気軽に能の世界を楽しんでもらおうと、入場料を格安に設定したということもあり、会場は満席の盛況でした。

今年の演目は、重要無形文化財の野村萬斎氏らが演じる『小傘（こがらかさ）』や、三宅右近（うこん）氏・右矩（すけのり）氏らが演じる『舟渡聟（ふなわたしむこ）』、全国的に珍しい手話狂言の演目『墨塗（すみぬり）』など、多彩な狂言が披露され観客を魅了しました。

市民ら約13,000人が参加

9月2日　総合防災訓練を実施

自主防災会や消防団、市役所職員などが参加した総合防災訓練が、市内各地で繰り広げられました。

自主防災会では、公民館などを会場に消防署員や女性消防隊による応急救護訓練、消火器による初期消火、可搬ポンプの操作などを地元消防団と共に実施しました。市では、7時30分に訓練災害対策本部を設置し、自衛隊など関係機関との連携を確認。また、救護所用エアテントの設置などを行いました。

韮山反射炉世界遺産への道

9月5日　韮山反射炉海外専門家現地視察

韮山反射炉を含む『九州・山口の近代化産業遺産群』の世界遺産登録に向けた活動の一環として、世界遺産の推薦書を作成している海外の専門家を招き、韮山反射炉の現地調査を行いました。

今回はイギリスから来日した産業遺産の専門家３人からさまざまな助言を頂きました。

韮山反射炉が世界遺産となるためには、市民の皆さんの協力が不可欠です。応援よろしくお願いします。